

## 第7回 馬淵川水系河川整備学識者懇談会 議事概要

平成24年1月17日(火)  
ユートリー 多目的中ホール

### 事業進捗に関する意見等

- 委員： 馬淵大堰のせせらぎ魚道について、津波による土砂堆積による利用しづらい、出入り口が閉塞するなど、悪影響はなかったのか。
- 事務局： 津波により魚道は全部埋まってしまった。今年度は魚道の前後も含めて土砂を撤去し、魚道の石を再設置する。来年度はモニタリング調査を行う予定である。
  
- 委員： コモチカワツボの再発生は、モニタリングではカバーできなかったパイプの中や隙間にいたものが出てきたと考えた方が妥当であると思われる。
- 委員： バットボックスに関して、学校の環境教育で勉強しているが、一方では、コウモリを殺して遊んでいるといった話もあります。その様な人たちを呼び込むような事が起きているのでそれに対する啓蒙が必要である。
- 委員： 防災に対するソフト面の記述があまり見受けられない。住民が自分で避難判断が出来るような素材を目に触れる場所に設置する検討をお願いしたい。
- 事務局： 馬淵川の総合的な治水対策協議会において、「まるごとまちごとハザードマップ」として町ごとに浸水深や避難場所を表示する看板の設置を行うことで計画している。既に実施している場所もある。
  
- 委員： 樹木の伐採は、川の巡視などで邪魔になるのでできれば切りたいというような事だと思っていますが、河川によってやり方が違うのか。それとも基本的には木は生やさないという考え方なのか。
- 事務局： 樹木の繁茂等による影響がある。それだけで全て切るというものではない。景観上、必要な場合もあると思われる。樹木の伐採計画を立てながら計画的に実施している。
  
- 委員： 中流部は国直轄にならないか、岩手県北にダムを造らなければ洪水被害は改善されないのではないかと申し上げてきた中、今回は過去にない水害被害だった。青森県・国は大変努力している。2年短縮しての完了を取り組んでいただけるのは本当に御礼申し上げたい。やはりハード面の整備はしっかりと効果が現れていることもはっきりわかった。整備をしていくと、住民の安全・安心というのが確保されるのが明らかに出てきている。この様な被害があった時は、計画を作ったとしても見直していくというのが必要と思う。河道掘削も実際にやってみれば効果が出てくると思っているので、計画的に進めていただきたい。現場をもう一度確認しながら進めていただければありがたい。
- ★座長： 青森県の方で対応をよろしくをお願いしたい。農地の冠水も10年で4回起きているので、事業の終わりにかかったらどの様に、どの程度の確率規模で守っていく

のが、南部町の皆さんの気持ちと青森県が進めている気持ちが合うのかを検討してもらいたい。

- 委員： 懇談会に岩手県の関係の方を入れていただくというのは出来ないのか。
  - 事務局： 馬淵川水系の河川整備学識者懇談会は、整備計画が策定されている国、青森県がメンバーになっている。岩手県の事務局の方には、本日は連絡をして来てもらっている。
  - ★座長： この懇談会の場で、岩手県の河川事業についての議論が多くなって、岩手県の委員が必要となれば入れるという方向で検討してもらおうこととする。
- 
- 委員： 3. 11と9月の出水、非常に大きな災害が続いたということで、住民参加と地域との連携をこの機会にしっかりとやっておくべきである。また、津波に対しては避難行動がどうだったのか、というところも考えなければいけない。  
馬淵川の道路状況は1本で集約されていると思うので、これ以上の大きい洪水が来た時には心配なので、道路と橋について考えているところがあれば教えていただきたい。防災教育という場合に、現場の人たちの小さいコミュニティだけではなく、上下流の交流も非常に大事である。
  - ★座長： 道路網の整備については、洪水になった時に救援活動等がうまく進むか心配なので、考えなければならない。これからの河川事業に加えて検討してもらおうこととする。上下流の交流については、事務局に検討してもらおうこととする。防災教育についてはご指摘のとおり風化してしまっている。今回の津波の教訓でもある。大学の先生方、民間企業の方、役所の方も受け止めて何らかの対策をたてていかなければいけないと思う。
  - 委員： 津波の避難に関して、特別な人たちを除けば、ほとんどがすぐ逃げたが、逃げる行動を抑えた人たちとか、誤った判断をした上司にあたった人たちが多数見られた。今後の防災計画の中でそういう人たちがいるんだということを組み込んでいただければと思う。
  - 委員： 国道104号と国道4号が通行止めになった。国道がストップすると物流にも影響が出る。国、県、河川も道路も連携というのを強化していただきたい。
  - 事務局： 国道104号も国道4号も青森河川国道事務所の管理である。本日は河川管理者が行う事業として説明させていただいた。住民参加など記述が弱い部分がありますが、総合的な治水対策の場、住民により近い立場の方からもご参加いただいている会議の中で議論していきたいと思っている。